

## 佐久地域の生活を支える地域防災力の向上事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- LPガスは中山間地の重要なライフラインであることに加え、迅速な安全確認・復旧作業が行えることや避難所での食事の提供に活用できるなど、災害時に担う役割が年々大きくなってきている。
- 中山間地の多い佐久地域では、大規模災害に備え、市町村と地域の団体等が連携した地域防災力の向上が特に重要となっている。

### 事業内容

- 普段家庭にありそうな食材を使って、手軽にでき栄養もとれるメニューを掲載した「災害時に役立つ料理レシピ本」を作成・配布
- 自治体の総合防災訓練において、LPガスを活用した発電機による携帯電話充電ステーションの実演や炊き出しステーションの展示・説明、レシピ本の配布を実施

### 事業効果

- 総合防災訓練では首長、市町防災担当者及び地域住民に災害時にLPガス発電機を利用した携帯電話の充電体験や発電機を実際に動かしてもらうなど多くの参加者と連携した訓練を実施することができた。
- 訓練当日、佐久市赤十字奉仕団に炊き出し用のLPガスを緊急的に供給するなど災害支援の有用なエネルギーであることを確認できた。
- 「災害時に活用できる料理レシピ本」を作成し、関係機関及び地域住民に配布した。メニューは栄養も考えて佐久保健福祉事務所管理栄養士の指導のもとカロリーも表記。佐久地域では初めての災害時に活用できる料理本を作成することができた。今回、調理師会と交流・連携してレシピ本が作成できたことにより幅広い関係者の防災意識の向上につながった。



【レシピ本】



【緊急携帯電話充電ステーション】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 自治体や地域住民、関係団体と連携した事業が実施できた。
- 作成したレシピ本を活用し、日本赤十字奉仕団及び社会福祉協議会などとも連携しながら、実際に炊き出しの実演を行うことにより、日常的に家庭にある食材で温かい食べ物を提供できることを地域住民に周知するとともに災害時に迅速に温かい食べ物を提供できる協力体制を構築したい。

#### 【選定のポイント】

小諸市、佐久市、御代田町の総合防災訓練において、LPガスを活用した災害時の炊き出しセット等の展示、実演を行い、防災関係者や住民への普及啓発を行った。また、調理師会と協働して災害時に活用できる料理レシピ本を作成・配布するなど先駆的な取組を行った。(訓練参加者数 1,456人、うちレシピ本配布 931冊)

団体名	長野LP協会佐久支部(佐久市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0267-63-3450	事業費	809,082円
メールアドレス	sakulp@abelia.ocn.ne.jp	支援金額	606,000円